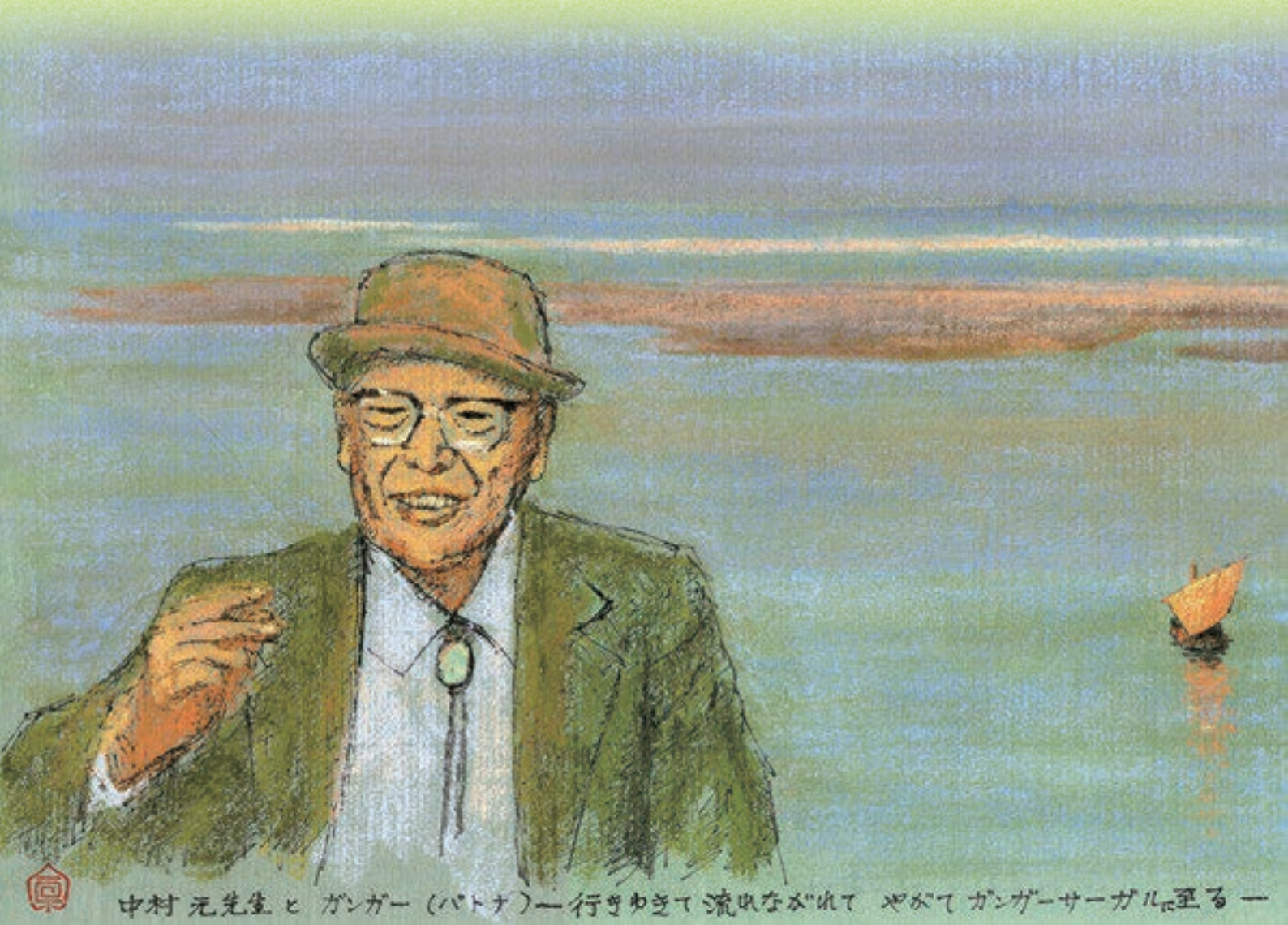
中村元記念館 Nakamura Hajime Memorial Hall नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

東方学院松江校
中村元記念館文化講座

受講の手引き

2023年度



東方学院

理念

〈人間〉の回復をめざし
財団法人東方研究会を母胎として
ここに『東方学院』を開設しました。
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される
共同体としてのグループの連合です。
〈個人指導の場の共同体〉とでもいうべきものをめざしています。

**The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.
This Academy is a cooperative body of various academic communities
of scholars and students wishing to learn,
in which scholars provide personal guidance to the students.
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point
for students and scholars.**

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

目　次

東方学院　理念 ―― 2
ごあいさつ・東方学院松江校とは ―― 4
中村元記念館　各講座受講のご案内 ―― 6
オンライン（ZOOM）講座について ―― 7
中村元記念館 2023年度講義一覧 ―― 8
東方学院松江校 講義案内 ―― 10
中村元記念館文化講座 講義案内 ―― 27
2023年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール ―― 34
各講座へのお申込みのご案内 ―― 36
2023年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書 ―― 37
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集 ―― 39
中村元記念館ボランティアサポーター募集 ―― 39
慈しみ（東方学院歌） ―― 40
アクセス ―― 41

表紙絵：
中村元先生とガンガー（パトナ）
―行きゆきて　流れながれて
やがてガンガーサーガルに至る―
画：石川　響

慈しみ

一切の生きとし生けるものは
幸福であれ　安穏であれ　安楽であれ
一切の生きとし生けるものは　幸であれ
何びとも他人を欺いてはならない
たといどこにあっても
他人を軽んじてはならない
互いに他人に苦痛を与える
ことを望んではならない
この慈しみの心づかいを
しっかりと　たもて

中村元訳　ブッダのことば

中村　元
(1912～1999)

インド哲学･仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛教語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。

ごあいさつ

東方学院長
藤井教公
（公益財団法人中村元東方研究所理事長・中村元記念館館長
国際仏教学大学院大学教授・北海道大学名誉教授）

島根県松江市の中海に浮かぶ大根島。この島のほぼ中央部に松江市八束町支所の庁舎があり、その二階に中村元記念館があります。この記念館は松江市出身の世界的インド哲学・仏教学の泰斗、中村元博士を記念する会館で、当時中村元東方研究所理事長（現名誉理事長）の前田專學博士が発願し、地元の清水谷善圭師らの尽力によって平成24年10月10日、中村博士生誕百周年の年、設立されたものです。

館内には中村元博士の３万４千冊に上る蔵書の一部が展示され、一画には博士が執筆活動をされた書斎そのままが再現され、机や椅子、文房具など、数々の遺品とともに、生前の博士の有様を彷彿とさせる空間を創出しています。

中村元博士は東大を退官後、昭和48年に東京の千代田区に東方学院を開設され、「現代の寺子屋」として多くの勉学の徒を導いてこられましたが、その活動は50年後の現在まで立派に受け継がれています。

その現れの一つがこの記念館における東方学院松江校の開設です。松江校は記念館開設の翌年の平成25年、東京の東方学院本校との緊密な連携のもとに開設されました。この松江校の中にも中村博士の精神が脈々と流れています。お互いが中村博士の提唱した「慈しみの心」を胸に刻んで、共に勉強しようではありませんか。

東方学院松江校とは

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年４月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた東洋の智慧を学んでみませんか？

◆ 東方学院の特徴

・真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
・専門家のあいだの縄ばり意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
・講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
・各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
・従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
・学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
・東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあって、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ ― これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭８文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

財団法人東方研究会
名誉理事長 中村洛子
（1919～2010）

※財団法人東方研究会は平成24年7月2日付けで、公益財団法人中村元東方研究所へと名称を変更しました。

中村元記念館　各講座受講のご案内

中村元記念館では、下記の講座を開講しています。

1. 東方学院松江校 (No.1-No.17)

受講するには、研究会員になる必要があります。

各講座の受講料は、8、9ページをご覧ください。

【研究会員について】

■年会費　3,000円

■会員特典

1．東方学院松江校の各講座を受講できます（8、9ページの表の受講料が別途必要です）。

2．中村元記念館ミュージアムショップで販売する書籍を会員割引価格（5％OFF）で購入できます。

3．中村元記念館で開催する中村元思想文化カフェに会員優待価格（20％OFF）でご参加いただけます。

4．次年度の「受講の手引き」を差し上げます。

※オンライン講座について

8、9ページの表に🖥マークのある講座はオンライン形式で行います。

中村元記念館の会場での受講、もしくはご自宅での受講のどちらかをお選びください。

（詳しくは、7ページをご覧ください。）

2. 中村元記念館文化講座 (No.18-No.24)

どなたでも受講できます。各講座の受講料をお支払いください。

（文化講座の受講生には、次年度の「受講の手引き」を差し上げます。）

＊受講料早期納入割引（早割）特典

各講義とも、**開講日の原則1週間前までにお申し込み・ご入金**されると、**受講料が1,000円割引**になります。

（注1）お申込書の提出だけでは割引は適用されません。1週間前までのご入金が必要です。

※開講日が土・日・月曜日の場合は、開講日直前の火曜日までとします。

（注2）東方学院松江校講座は年会費・受講料の両方の入金時に割引適用となります。

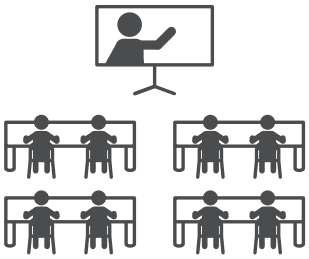
オンライン（ZOOM）講座について

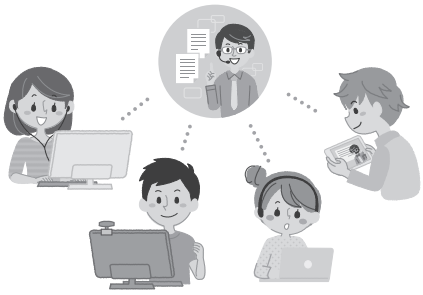
●オンライン講座を受講するには？（①または②よりお選び下さい）

①中村元記念館にお越しいただき、プロジェクターに投影した先生と記念館会場を結び、双方向でのコミュニケーションをとりながら受講していただきます。

②〈インターネット〉のつながる〈パソコン・スマートフォン・タブレットPC〉などがあれば、どなたでもご自宅からお気軽に受講できます。

→メールアドレス（gmail、yahooなどのフリーメールでも大丈夫です）が必要です。





・ZOOM〈ズーム〉というソフト（アプリケーション）を使ったオンライン講座です。
・オンライン「初心者の方」には、講義開始前に事務局から細かくサポートいたします。
・「ZOOMはじめてマニュアル」もご用意しております。
・本番の授業が始まる前に事務局スタッフと「動作確認」もいたします。
・オンライン講座お申込み → メールアドレスにマニュアル・招待状（URL、ID・PW（パスワード））のご送付
→ URLクリックまたは、ID・PW入力してアクセス → 画面を通して授業を受講できます

●オンライン講座の探し方

8、9ページ講義一覧「オンライン講義」の欄、各講義案内の講義名の横に🖥マークが表示されている講座です。

4	日本神話と世界の神話 —構造分析による比較	出口　顕	4	4回／月 毎週火曜日	10:30～12:00	2024年 2月6日	7,400	6,400
5	空海と覚鑁	吉田　宏哲	4	4月8日(土) 4月15日(土)	10:30～12:00・13:20～14:50 13:20～14:50・15:00～16:30	4月8日	9,000	8,000
6	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ	山口　弘江	8	1回／月 第3日曜日 ※最終日のみ第2週	13:20～14:50 15:00～16:30	5月21日	17,000	16,000
7	大乗仏教とは何か —その成立と展開—	渡辺　章悟	4	6月2日(金) 6月3日(土)	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	6月2日	9,000	8,000

オンライン講座が可能です

5　空海と覚鑁　【全4回】／開催方法：🖥

吉田宏哲（よしだ こうてつ）
大正大学名誉教授
真言宗智山派宗機顧問
宥勝寺住職

受講料	会員料金：¥9,000　早割価格：¥8,000（納入期限：4月4日）

［日程・時間］【全4回】 4月8日（土）10：30～12：00・13：20～14：50
4月15日（土）13：20～14：50・15：00～16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

●オンライン講座（自宅受講）のお申込みの仕方

※「受講申込書」のオンライン自宅受講の欄に○を記入して下さい。
※お申し込みの方には「具体的な手順や注意事項」をお送りいたします。
※オンライン講座に興味はあるけれども、はじめてなので心配であるという方、ご遠慮なく事務局までご相談ください。

（事務局連絡先：メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
TEL 0852-76-9593　FAX 0852-76-9693）

中村元記念館 2023年度講義一覧

東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	日　程	時　間	開講日	会員料金	早割適用（▲千円）	オンライン講義
1	『観無量寿経』を読む	齊藤　舜健	12	2回／月 第1・3・5 金曜日	13:20～14:50	4月21日	20,200	19,200	
2	松江の仏像　その時代とかたち	的野　克之	6	1回／月 第2金曜日	10:30～12:00	5月12日	10,600	9,600	
3	スピリチュアルとは？	岡　宏	5	1回／月 第3土曜日	10:30～12:00	10月21日	9,000	8,000	
4	日本神話と世界の神話 ―構造分析による比較	出口　顕	4	4回／月 毎週火曜日	10:30～12:00	2024年 2月6日	7,400	6,400	
5	空海と覚鑁	吉田　宏哲	4	4月8日（土） 4月15日（土）	10:30～12:00・13:20～14:50 13:20～14:50・15:00～16:30	4月8日	9,000	8,000	
6	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ	山口　弘江	8	1回／月 第3日曜日 ※最終日のみ第2日曜日	13:20～14:50 15:00～16:30	5月21日	17,000	16,000	
7	大乗仏教とは何か ―その成立と展開―	渡辺　章悟	4	6月2日（金） 6月3日（土）	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	6月2日	9,000	8,000	
8	仏教思想概論 ―インド仏教思想の展開―	下田　正弘	4	6月12日（月） 6月13日（火）	10:30～12:00・13:20～14:50 13:20～14:50・15:00～16:30	6月12日	9,000	8,000	
9	日本の院政期における仏教修行	蓑輪　顕量	4	8月5日（土） 8月6日（日）	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	8月5日	9,000	8,000	
10	天神信仰と神仏習合	加藤みち子	4	8月19日（土） 8月20日（日）	13:20～14:50・15:00～16:30 13:20～14:50・15:00～16:30	8月19日	9,000	8,000	
11	『彰所知論』を読む	三友　健容	4	9月5日（火） 9月6日（水）	13:20～14:50・15:00～16:30 13:20～14:50・15:00～16:30	9月5日	9,000	8,000	
12	中村元博士の思想研究の継承への試み（中村思想と比較文明学）	保坂　俊司	4	9月13日（水） 9月14日（木）	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	9月13日	9,000	8,000	
13	中村元博士の思惟方法	笠原　愛古	1	10月10日（火）	13:20～14:50	10月10日	3,000	2,000	

No	講義題目	講師名	回数	日　程	時　間	開講日	会員料金	早割適用（▲千円）	オンライン講義
14	良寛『法華讃』について	竹村　牧男	4	10月23日（月） 10月24日（火）	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	10月23日	9,000	8,000	
15	仏教聖典へのいざない	釈　　悟震	4	10月29日（日） 10月30日（月）	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	10月29日	9,000	8,000	
16	「『歎異抄』を通して学ぶ浄土真宗入門」	田中ケネス	2	11月11日（土）	10:30～12:00・13:20～14:50	11月11日	5,000	4,000	
17	インドにおける瞑想と造形 ～密教的観想法（サーダナ）の世界～	佐久間留理子	3	3回／月 毎週日曜日	13:20～14:50	2024年 2月18日	7,000	6,000	

※講義によっては日程の一部の週数が異なる場合があります。日程詳細は各講義案内のページをご確認ください。
※講義日は変更になる場合があります。休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。
https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/
※オンライン講義は、記念館またはご自宅で受講できます。ご自宅で受講される方は7ページをご覧ください。
※オンライン講義に「」がある講義について、講師はモニターでの参加になります。

中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	日　程	時　間	開講日	一般料金	早割適用（▲千円）
18	伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～	大谷香代子	7	1回／月 第2木曜日	10:30～12:00	4月13日	12,200	11,200
19	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀　善章	8	1回／月 第3火曜日	10:30～12:00	4月18日	13,800	12,800
20	観想行入門「心を知ろう」	清水谷善圭	7	1回／月 第3水曜日 ※初回のみ第2水曜日	10:30～12:00	4月12日	12,200	11,200
21	ナーダ・ブラフマー 宇宙の響き	瀬古　康雄	6	1回／月 第2土曜日 ※最終日のみ第1土曜日	13:20～14:50	5月13日	10,600	9,600
22	中国地方の神楽入門	中野　秋鹿	2	8月27日（日）	13:20～14:50 15:00～16:30	8月27日	4,200	3,200
23	松江とジュネーブ ―景観美のルーツを探る―	岡﨑　秀紀	3	1回／月 不定週 土曜日、日曜日	13:20～14:50	10月15日	5,800	4,800
24	能海寛の外国語文献を読む	岡﨑　秀紀	5	1回／月 不定週 土曜日、日曜日	13:20～14:50	11月5日	9,000	8,000

東方学院松江校 講義案内（受講料以外に年会費￥3,000が必要）

1　『観無量寿経』を読む　【全12回】／開催方法：現地

齊藤舜健（さいとうしゅんけん）
浄土宗総合研究所
主任研究員
浄土宗西方寺住職

受講料	会員料金：￥20,200　早割価格：￥19,200（納入期限：4月14日）

［日　程］【全12回】　２回／月　第１・３・５金曜日
（4/21、5/19、6/16、6/30、7/7、7/21、10/6、10/20、11/3、11/17、12/1、12/15）
［時　間］13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

我が国では浄土系宗派の信者が全仏教徒の約半数を占め、それらの浄土系宗派の多くは法然（1133-1212）から始まる。法然がその教えの根拠としたのが『無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の三経典で、浄土三部経と呼ばれる。これらは中国の善導（613-681）や法然の理解を通すことで、わが国の浄土教・阿弥陀仏信仰の根元となった。信徒数の多さとあいまって、わが国の精神文化への影響は尽大なものといえよう。そのうち『無量寿経』には、阿弥陀仏が仏となった経緯、阿弥陀仏によって救われる理由などが述べられ、『観無量寿経』では阿弥陀仏の国土・聖衆の姿や、往生人たちのイメージ化などが述べられる。いずれも中国において多くの註釈研究があり、わが国でも伝来以後様々に理解されてきた。特に法然以後は浄土系諸宗派の宗義学の立場からの研究の積み重ねがあり、内容の理解はもちろん、語句や構文の理解に到るまで、宗義学的な裏づけ、後付の解釈が与えられている。その影響は極めて大きく、それらの理解を離れての読解は困難な点があるので、それらにも目配しながら、経典本文を読み進めて行きたい。

令和５年度は４年度からの継続で『観無量寿経』（下品上生から）を読む。初回は読了部分の内容を確認する。また、『観無量寿経』読了後、引き続き『阿弥陀経』を講読する。

【参考書】

①【現代語訳】　浄土三部経　著者：浄土宗総合研究所　出版社：浄土宗出版　出版年：2011
②浄土三部経（現代語版）浄土真宗聖典　著者：浄土真宗本願寺派総合研究所　出版社：本願寺出版社　出版年：1996
③浄土三部経　著者：中村元、紀野一義、早島鏡正　出版社：岩波書店　出版年：1990

2　松江の仏像　その時代とかたち　【全６回】／開催方法：現地

的野克之（まとの かつゆき）
島根県立石見美術館
館長
松江歴史館
学芸専門監

受講料	会員料金：￥10,600　早割価格：￥9,600（納入期限：5月9日）

［日　程］【全６回】　１回／月　第２金曜日
（5/12、6/9、7/14、10/13、11/10、12/8）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの
［テキスト］『松江市ふるさと文庫32「松江の仏像　その時代とかたち」』
著　者：的野克之
出版社：松江市文化スポーツ部　松江城・史料調査課

松江の仏像を時代毎にお話しします。しかし、いきなり松江の仏像のお話をしても分かりにくいので、その時代の全国的な仏像の様子をお話ししてから、具体的な松江の仏像についてお話しします。また、同じ時代に造られた、仏を表現した絵画や工芸も一部紹介します。2022年に出版された松江市ふるさと文庫32「松江の仏像　その時代とかたち」を基にお話ししますが、本書に登場しない仏像も多数紹介します。

第１回　飛鳥時代・奈良時代・平安時代前期
飛鳥時代と奈良時代の仏像は松江に残っていません。しかし、この時代寺院があったことは判明しているので、仏像も当然ありました。どのような仏像だったのか、他県の仏像を参考に考えます。また、平安時代前期には、島根県を代表するような仏像が松江にも登場します。

第２回　平安時代後期
このころから松江にも都会的な仏像が登場します。また、神の姿を現した神像もたくさん登場します。

第３回　鎌倉時代Ⅰ

第４回　鎌倉時代Ⅱ
松江には鎌倉時代の仏像が数多く残ります。体の中に制作者の名前や制作年が書かれた仏像も登場します。

第５回　南北朝・室町・戦国・安土桃山時代
武士がスポンサーとなって仏像が造られるようになります。この地で力を持っていた尼子が造らせた仏像も松江に残ります。

第６回　江戸時代
庶民も仏像を造らせるようになるので、数多くの仏像が造られました。仏像の数が一番多く残っている時代もこの時代です。山陰で活躍した仏師（仏像の作者）が造った像が松江にも残っています。

【参考書】
『完本　仏像のひみつ』　著者：山本勉　出版社：朝日出版　出版年：2021

3　スピリチュアルとは？　【全５回】／開催方法：現地

岡（おか）　宏（ひろし）
近畿大学
生物理工学部講師
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月17日）

［日　程］【全５回】　１回／月　第３土曜日
（10/21、11/18、12/16、2024/1/20、2/17）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

Spiritualityは、本邦では「霊性」と訳されることもある。仏教学者の鈴木大拙氏が、これを「日本的霊性」と表現したことは、あまりにも有名である。名著『日本的霊性』は、宗教心の根源をなす「霊性」の全面的な開顕を、「禅」と「浄土思想」に跡付けた大拙氏の宗教哲学の代表作である。「日本的霊性」が、日本を代表する宗教との関連で語られるとすると、同様の手法によって語られる「○○的霊性」が存在すると思われる。そして、その一つ一つは、それぞれの宗教文化との関連で語られていることは想像に難くない。

和辻哲郎氏が『風土』で語ったように、それらは時間的・空間的所産であり、言葉や宗教に違いがあるように、「霊性」も国によって異なりを見せるはずである。それは「霊性」の内実が国によって異なるということを意味している。

ところで、スピリチュアリティ（＝「霊性」）を考える時、宗教に限定することは必ずしも現実的ではない。それは、宗教や信仰を持たないが、「霊性」には充分な関心を寄せる人々がいるからである。例えば、自然の摂理と一体化した人間の営み、中にはアニミズム的なものも少なからずある。現実世界の超越的存在に畏敬の念を抱く場合もある。鈴木大拙氏の「禅の思想」は、哲学的要素を多分に併せ持っているようにも感じられる。このように、スピリチュアリティの定義は、必ずしも一定とは言えない状況にある。

本講では、スピリチュアリティの置かれた状況を踏まえ、そこからスピリチュアリティの定義を試み、それが人間存在とどのように連関し、さらに、「ケア」として展開する可能性を有するかについて考えを進めてみたい。

【講義計画】
第１回「スピリチュアルとは①」
第２回「スピリチュアルとは②」
第３回「スピリチュアルの本質」
第４回「スピリチュアルと人間」
第５回「スピリチュアル　その展開としてのケア」

4　日本神話と世界の神話 ―構造分析による比較　【全４回】／開催方法：現地

出口　顯（でぐち　あきら）
島根大学名誉教授
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	会員料金：￥7,400　早割価格：￥6,400（納入期限：2024年1月30日）

［日　程］【全４回】　４回／月　毎週火曜日
（2024/2/6、2/13、2/20、2/27）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

1. まず、古事記のスサノヲに殺害されたオホゲツヒメの体から穀物が発生するという日本神話を読む。このエピソードと類似した内容の神話が、ハイヌヴェレ型神話として特にメラネシアで語られていたことを、日本の神話学者吉田敦彦の研究により紹介し、日本神話は他に類を見ないユニークな神話ではないことを講義する。
2. ついで吉田敦彦に大きな影響を与えたフランスの神話学者ジョルジュ・デュメジルのインド=ヨーロッパ語族の３機能体系の考え方を紹介する。デュメジルによればインド・ヨーロッパ語族の神々の体系は、主権=司祭的神、戦闘神、農耕神の３層に分かれ、序列化されている。それは神話を語る社会の構造とも対応する。では日本神話にも類似した特徴が見られるかを吉田敦彦や大林太良の研究を通じて考える。
3. 現代の神話研究に大きな功績を残したフランスの人類学者クロード・レヴィ=ストロースの構造分析の特徴を彼の主著『神話論理』によりながら講義する。レヴィ=ストロースによれば、神話には二項対立・媒介・変形という特徴があり、それらにより、制度や事物の始まりにいかに適正な距離が設定されたかが物語られるという。このような理論の紹介を踏まえて、レヴィ=ストロース自身による「因幡の白兎」と北米先住民神話の比較を紹介し、古代日本と北アメリカ先住民の神話的思考の類似性を考える。

5　空海と覚鑁

【全４回】／開催方法：

吉田宏哲（よしだ こうせき）
大正大学名誉教授
真言宗智山派宗機顧問
宥勝寺住職

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：4月4日）

［日程・時間］【全４回】　４月８日（土）10：30〜12：00・13：20〜14：50
４月15日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

弘法大師空海（744〜835）は伝教大師最澄（767〜822）と並んで、平安仏教を代表する宗祖である。この二人は勅命に依って唐代の中国に留学し、帰朝して後、最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ立教開宗した。平安時代の前の奈良時代には、南都六宗（律、倶舎、成実、三論、法相、華厳）があり、平安時代の後の鎌倉時代には、浄土宗、浄土真宗、時宗、臨済宗、曹洞宗、日蓮宗が成立して、日本仏教の主要な宗派が出そろった。これら三つの時代の仏教の特色を概括的に指摘すると、奈良平安の二つの時代の仏教は、経律論（三蔵）と言われる仏教の典籍のどれかに基づいて形成されており、他方、鎌倉時代の諸宗派は、信や行の一事を選択して人々の心を捉えたと言ってよいであろう。

一方、眼を転じて世界の宗教を見ると、これは大別して民族宗教と世界宗教に分けることが出来る。これは言ってみれば世界の各民族や部族の固有の宗教と、民族や国家を超えて世界に普遍的に信じられている宗教の違いである。例えば日本の神道や中国の儒教、道教、インドのヒンドゥ教などは民族宗教だし、仏教やキリスト教、イスラム教は世界宗教である。また人間は死後どうなるかに関して、再生（輪廻転生）と復活（砂漠地帯の宗教）の違いに分ける宗教の区別も可能である。これはつまりアジアンモンスーン地帯の地域では死体は消滅してしまうから霊魂（インドではアートマン）が来世に別の形態（身体）をとって再生すると考えたのであり、他方、砂漠地帯では死体はミイラになって残るから、この身体が再び蘇る（復活）と考えたのである。インドの宗教やインドで成立した仏教は前者であり、キリスト教やイスラム教は後者である。但し仏教は輪廻転生の束縛からの解放（解脱涅槃）を志向するから再生と復活の宗教のどちらにも該当しない。釈迦の最初の説法は四つの真理（四諦）というものであったが、その第一の真理は一切皆苦。そして第二の真理はその苦の原因の集まりは何か。第三の真理はその苦の原因の集まりを無くした結果得られる一切の苦の生滅の境地。第四の真理が苦の原因の集まりを無くす実践の方法であった。

空海の仏教（密教）の特色は南都六宗や天台宗、それに鎌倉の諸宗派の立場の全てを統合するものであった。それはどのようなものであったか、又それを受けた覚鑁の仏教とはどのようなものであったかを明らかにしたい。

6　仏教漢文講読：『維摩経』をよむ　【全８回】／開催方法：現地

山口弘江（やまぐちひろえ）
駒澤大学仏教学部准教授

受講料	会員料金：￥17,000　早割価格：￥16,000（納入期限：5月16日）

［日　程］【全８回】　１回／月　第３日曜日　※最終日のみ第２日曜日（5/21、6/18、9/17、10/8）
［時　間］13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

『維摩経（ゆいまぎょう）』は、漢訳では３巻と短い内容ながらも、東アジアの仏教思想および文化に大きな影響を与えた代表的な大乗経典の一つとされます。『法華経』などのように特定の宗派の聖典とされることはありませんでしたが、だからこそ『維摩経』は信仰や教義の垣根を超えて、多くの人々に愛読されました。また、近代以降は東アジアだけでなく、世界中の仏教学者が『維摩経』に着目し研究を行ったことで、欧米語なども含め、数多くの現代語訳が刊行されるに至っています。1999年には、これまで残っていないとされていたインド古典語のサンスクリット語によるテキストが日本の大正大学の調査隊によってチベットのポタラ宮で発見されました。この大発見によって、『維摩経』の研究は近年さらなる進展を遂げています。

お経の主人公は、仏ではなく維摩詰という大富豪です。在家菩薩として一目置かれる存在の維摩詰が、ある時、病気となります。その知らせを受け、仏は弟子を見舞いに遣わそうとするのですが、ここから物語は大きく展開していきます。全14章の中には、読者を惹きつけてやまない名場面が随所に設けられています。深淵な教理を巧みな譬喩で表現するレトリック、維摩詰が仏の十大弟子をはじめ、弥勒や文殊といった大菩薩をやりこめる見せ場、方丈という小さな病室に無限の空間を見せる演出など、さまざまな手法をこらして大乗経典の醍醐味を我々に示しているのです。

本講義では、『維摩経』の諸訳の中で最も広く読まれた鳩摩羅什訳『維摩詰所説経』をテキストに、本文を講読します。2018年度には「仏国品第一」、2019年度には「方便品第二」「弟子品第三」、2020年度には「菩薩品第四」、2022年度には「問疾品第五」「不思議品第六」を講読しました。それらの内容をふまえつつ、今年度は「観衆生品第七」から最終章にあたる「嘱累品第十四」までを受講者の皆さんとともに輪読する予定です。受講を通じて、みなさんが『維摩経』の世界を原典に基づきみずから味わい、仏教漢文の基礎を身に着けることを目的としています。

＊2018年度から継続している講義ですが、今年度からはじめて受講される場合でも理解できるよう説明しますので、新規の方もご心配なくお申し込みください。
＊受講にあたって特別な予習は必要ありませんので、これまであまり仏典に触れたことがない方や、歴史や漢文・漢字に興味のある中高生の受講も歓迎します。
＊当日は講読がメインとなりますので、漢和辞典を持参してください。新たに購入する場合は、『全訳 漢辞海』第四版（三省堂、2016年）を推奨します。

【参考書】
①現代語訳大乗仏典３　『維摩経』『勝鬘経』　著者：中村元　出版社：東京書籍　出版年：2003
②梵文和訳維摩経　著者：高橋尚夫、西野翠（訳）　出版社：春秋社　出版年：2011

7　大乗仏教とは何か ―その成立と展開―

【全４回】／開催方法：

渡辺章悟（わたなべしょうご）
東洋大学教授
博士（文学）

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：5月26日）

［日程・時間］【全４回】　6月2日（金）13：20〜14：50・15：00〜16：30
6月3日（土）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

大乗仏教はなぜ、またどのように成立したのか、これらの問いは現在でも、ホットな議論の的であり、その議論自体が大乗仏教の一つの展開でもあります。

本講義では、大乗仏教の起源と成立の問題を、これまでの定説や近年の新説にいたるまでを紹介します。ついで、実際に大乗仏教の代表的経典である、般若経や法華経、阿弥陀経などの重要な章句を実際に読みながら、①経典の成立、②大乗の特徴とその思想、③法滅と授記、③悟りの智慧の展開、④第二の転法輪、⑤三乗思想、⑥菩薩思想、⑦仏身論などを検証してゆきます。今回は特に①から④までが中心となります。これらのテーマを分析しながら、大乗仏教の概要と　その思想の全体像を理解するように努める予定です。

第一回　大乗仏教のスケッチ

大乗仏教はインド仏教全体では中期に位置しますが、それ自体では初期・中期・後期に分けられます。その分類の考え方、そしてそれぞれどのような経典があり、その特徴はどのようなものなのかを概略します。

第二回　大乗仏教の起源と発展

大乗仏教の成立についてのこれまでの学説と最近の研究状況を解説します。また、大乗という呼称とその主張がどのように変遷してきたのかを説明いたします。

第三回　大乗仏教思想の骨格⑴

法滅思想を中心に、初期仏教の思想を大乗がどのように取り入れて形成されていったのかを説明します。

第四回　大乗仏教思想の骨格⑵

ブッダのさとりはサールナートでの初転法輪によって開始されますが、その説法モデルをもとにして大乗仏教は第二・第三の転法輪を述べます。その説示の方法と意義を解説します。

【参考書】

テクストはレジュメを配布するが、さらに深く学びたい方は以下の参考書を読んでください。

①グレゴリー・ショーペン著・渡辺章悟監訳『インド大乗仏教の虚像と断片』国書刊行会、2022年12月
②渡辺章悟『般若経の思想』春秋社、2019年12月
③渡辺章悟「大乗教団のなぞ」『仏教の形成と展開』（新アジア仏教史02インド）佼成出版社、2010年
④勝崎・小峰・下田・渡辺共著『大乗経典解説事典』北辰堂、1997年

8　仏教思想概論 ―インド仏教思想の展開―　【全４回】／開催方法：現地

下田正弘（しもだ まさひろ）
東京大学教授
日本印度学仏教学会理事長

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：6月6日）

［日程・時間］【全４回】6月12日（月）10：30〜12：00・13：20〜14：50
6月13日（火）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

本講義は、仏教思想のさまざま特質について、その概要を理解することを目的とする。講義は、原始（初期）仏教の思想の特徴の考察から出発し、仏教の基本教義を完成した部派仏教の思想、それに根底から問題提起をした大乗仏教の空（中観）の思想、それら前史を踏まえて完成された唯識思想、さらに仏教思想の究極的形態である如来蔵・仏性思想までの展開を、順に辿ってゆく。

これによって、諸行無常、諸法無我、一切行苦、という思想の提示からはじまり、瞑想修行によって煩悩の制御をめざす仏教の教理へと展開し、ついであらゆる存在についてその本性が空であり、縁起であると説く大乗仏教の出現、さらにすべてを意識の所産であるとみる三界唯心という教説の完成、最後に、すべての衆生に仏の本性が存在することを宣言する思想が現れてきたことの意味が、一連の歴史として理解されるだろう。

講義は、インド仏教の原典を解読し、その思想にわずかでも直接触れることを目的とする。初期仏教経典、部派仏教の論書、さらには大乗経典（阿弥陀経、法華経等）あるいは論書（中観、唯識、仏性・如来蔵思想関係等）のなかから、その思想の核心が窺える部分を、適宜抜粋して、和訳をしたテキストによって読んでゆく。

もちろん、受講生には、サンスクリット語やパーリ語の知識を要求することはなく、初心者でも講義内容についてゆけるように配慮するので、安心して受講されたい。この講義を通して、インド・ヨーロッパの精神世界を構成した、サンスクリットという言語による思想構築の営為の一端にふれることができれば、仏教思想がいかに精密な論理で組み立てられているか、同時に、それが論理の限界点に達し、いかにしてあらたな世界を開いてゆくか、そのみごとな思想の運動を経験することができるだろう。

【参考書】
①『パリニッバーナ　終わりからの始まり』　著者：下田正弘　出版社：ＮＨＫ出版　出版年：2007
②『仏教とエクリチュール』　著者：下田正弘　出版社：東京大学出版会　出版年：2020

9　日本の院政期における仏教修行　【全４回】／開催方法：現地

蓑輪顕量（みのわ けんりょう）
東京大学大学院教授
（人文社会系研究科・
インド文学インド哲学
仏教学　専門分野）

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：8月1日）

［日程・時間］【全４回】　8月5日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30
8月6日（日）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

仏教は体験の宗教であると言われる。それは釈尊が、悩み苦しみから逃れるために、身心の観察を行ったことに起因する。この身心の観察が、初期には念処と呼ばれ、後には止観という名称で呼ばれるようになった。

このような仏教における身心の観察は、日本仏教の中にも伝わった。それは飛鳥時代の道昭から始まると考えられるが、平安時代には徳一や最澄によって、その実際がどのようなものであったのかが知られる。

本年の講義は、前年度に引き続き、日本の院政期の時代、仏教者たちがどのような修行を行い、またどのように修行を捉えていたのかを考察する。院政期の時代は、論義と呼ばれる教学の研鑽が重要なものと捉えられていた時期であり、四ヶ大寺と呼ばれる寺院の僧侶達は、学問的な修学に励んでいたことが知られている。しかしながら、実際の僧侶の方達が、どのような修行を、どのようなことを理論的な背景としながら実践していたのかは殆ど知られていない。

講義の中では、院政期の法相宗と三論宗の僧侶に焦点を当てて、その実体を明らかにする。

第１講　三論宗僧侶における修行
第２講　三論宗僧侶における修行
第３講　法相宗僧侶における修行
第４講　法相宗僧侶における修行

【参考書】
①『日本仏教史』　著者：蓑輪顕量　出版社：春秋社　出版年：2015

10　天神信仰と神仏習合

【全４回】／開催方法：

加藤（かとう）みち子
武蔵野大学仏教文化研究所　特任教授
中村元東方研究所
主任研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：8月16日）

［日程・時間］【全４回】　8月19日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30
8月20日（日）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

菅原道真をまつる「天神信仰」は、現在でも盛んですが、天神信仰の背後に、いわゆる、神仏習合の現象がみられること、そして、天神信仰にも思想的に変遷があることは以外と知られていない事ではないかと思います。本講座では、天神信仰の系譜と展開について、仏教との関わりに注目しながら読み解いていきます。

1時限目　菅原道真と天神信仰の成立
まず、菅原道真公が、なぜ「天神」としてまつられるようになるのか、について、生前の道真公の事績のほか、時代背景や、御霊信仰など、平安時代の人々の信仰世界からひもといていきます。

2時限目　なぜ「天満宮」なのか？ ―天神信仰と仏教のかかわり
2時間目は、天神様を祀る神社がなぜ「天満宮」と呼ばれるのか、その背景を仏教とのかかわりや、「渡唐天神像」との関わりから読み解いていきます。

3時限目　天神信仰の諸相 ―祟り神、火雷天神から、菅原家の氏神・鎮護国家の神へ
天神信仰は、当初の「祟り神」としての信仰にとどまらず、火雷天神、菅原家の氏神･鎮護国家の神など、さまざまな意味をもって信仰が展開します。ここでは、天神信仰の諸相をご紹介します。

4時限目　天神が、なぜ「学問の神」なのか？
現在、天神といえば、受験合格を祈願する「学問の神さま」として知られています。ここでは、現在に至る、学問の神としての「天神信仰」の系譜を仏教との関わりと歴史的展開を踏まえて見ていきます。

【参考文献】
坂本太郎著　『菅原道真』　吉川弘文館〈人物叢書〉、1989年
竹内秀雄著　『天満宮』　吉川弘文館〈日本歴史叢書〉、1996年
神社と神道研究会編　『菅原道真事典』　勉誠出版、2004年
今堀太逸著　『権者の化現 ―天神・空也・法然』　思文閣出版、2006年
瀬田勝哉編集　『変貌する北野天満宮：中世後期の神仏の世界』　平凡社、2015年

11 『彰所知論』を読む

【全４回】／開催方法：

三友健容
立正大学名誉教授
高応寺院首

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：8月29日）

［日程・時間］【全４回】　9月5日（火）13：20〜14：50・15：00〜16：30
9月6日（水）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

蒙古に挙兵したジンギスカン（在位：1206年-1227年）は、瞬く間にアジアをはじめヨーロッパ各地を征服し、一大帝国を建設した。この大帝国の第5代皇帝が蒙古大襲来として日本にも押し寄せたフビライカン（1215年-1294年）である。フビライの第三子ティムジムは仏教に帰依し、チベット僧パクパに講義を依頼した。パクパはティムジムの講義のために仏教の根本教理（アビダルマ）を纏めたのが本書である。本書には、漢訳『彰所知論』とチベット語訳 Śes bya rab tu gsal ba（所知をよく明らかにする）が残っている。

本講座では、漢訳の読み下しとチベット語訳からの拙訳とを用いながら、仏教の基本教理を説明していく。

【参考書】
より高度の研究を進めたい方へ
『蔵英辞典』（アマゾンで購入可　著者：H.A.イェシュケ　出版社：臨川書店　第６版　出版年：2008

12　中村元博士の思想研究の継承への試み（中村思想と比較文明学）【全４回】／開催方法：現地

保坂俊司（ほさかしゅんじ）
中央大学大学院教授
比較思想学会会長

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：9月6日）

［日程・時間］【全４回】　9月13日（水）13：20〜14：50・15：00〜16：30
9月14日（木）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

中村先生の偉大さは、云うまでもないことであるが、その偉大さが、仮に個人のレベルの偉大さに止まるならば、その学問的な評価は、時代と共に逓減ししてしまう可能性は、決して小さくない。勿論、学問的な意義は決して摩滅するわけではないが、如何に偉大な業績であっても、時代と共に生きる部分があり、その時代性を含めて偉大な業績と評価されるのであるから、中村先生の業績も、それぞれの時代背景を加味しつつ評価されることで、受け継がれ、それに依ってその意義もそれぞれ検討されつつ引き継がれてこそ、偉大な業績であり続けるわけである。逆に言えば、中村先生の偉大さを示す為には、その学問のあり方が、引き継がれることも必要な要素ということになる。

というのも、歴史上、生存時には華々しい評価を受けつつ、時代と共に忘れ去られた思想家は少なくない。一方で、時代と共に評価を上げる、あるいは高い評価を受け続ける思想家も少なくない。

一般に偉大なる思想家という場合は、多様な意味を含むが、ここでは、質量共にその研究活動、思索の深さ等々において、その時代を代表する思想家･研究者と一応の定義を行いう。そうすると、中村元先生の存在は、明治以来の偉大とされる思想家、哲学者（これらの言葉は、本来の意味は余り変わらないが、アカデミックに特殊化している部分が誤解を生じている。ここでは両者をほぼ同じとする）の中でも、昭和後期から平成を代表する哲学者としての評価は、不動である。勿論、時代を超えた偉大さもある。

が、しかし、偉大な哲学者であっても、その思想は、常に読み継がれ、解釈されつつ継承される必要がある、その為には、中村思想の業績の単なる祖述に止まってはならない訳である。つまり、中村思想と批判的に対峙し、それの真髄に迫る事を目指さなくては、中村思想の継承とは云えないのではないか、と私は考える。勿論、浅学非才な私であるが、中村先生の謦咳に接し、思想研究者たり得た私は、中村思想の一端であっても伝えてゆく義務があるように感じている。

中村先生は「奴隷の学問を脱するために、私が一番槍になります」と好んで話された。この言葉は、単に日本の思想界の事に止まらず、現今の日本社会の停滞の遠因ともなっている近代日本思想への中村先生独特の批判が込められた表現であるが、それに止まらず、中村先生の真の学問のあり方、つまり真理への探求への決意が見事に表わされている言葉である。

今回は、中村思想の継承をテーマに、拙著「インド宗教思想史」（ちくま新書）を題材としたい。

【参考書】

①インド宗教興亡史　著者：保坂俊司　出版社：筑摩書房　出版年：2022
②ヒンドゥー教と叙事詩（決定版中村元選集第30巻）　著者：中村元　出版社：春秋社　出版年：1996
③比較思想論（岩波全書　247）　著者：中村元　出版社：岩波書店　出版年：1984

13　中村元博士の思惟方法　【全１回】／開催方法：現地

笠原愛古（かさはらなるひさ）
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	会員料金：￥3,000　早割価格：￥2,000（納入期限：10月３日）

［日程・時間］【全１回】　10月10日（火）13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

この度、先生方のご推挙により「中村元博士の思惟方法」と題して、お話をさせていただくこととなりました。「思惟方法」という講義名から中村博士の著作『東洋人の思惟方法』４部作を想起される方もおられるでしょう。本講義は、中村博士ご自身の書かれたモノ（テクスト）から「中村博士の考え方」を捉え直そうという試みです。

例えば、中村元選集決定版の劈頭を飾る『インド人の思惟方法（東洋人の思惟方法１）』にはネパール国王から中村博士宛に送られてきた「年賀状」について引用されています。このネパール国王は、中村博士が語られる際に「1978年ネパール国王から勲章を授与される。」とわずか１行のみで記されている王のことです。そのネパール国王とインド人からの「年賀状」に共通する考え方（思惟方法）として、特定の宗教のみのものではなく「世界一般に通ずる普遍的なものにしようと」されていること、また「世界が次第に諸宗教の対立を超えたところに、尊ぶべきものを見出そうとしている」ということを読み取られています。このように特定の宗教思想の枠を超えたところにも、中村博士ご自身の思想・考え方を読み取ることができます。

本講義のような試みが必要とされる理由については、近年、中村博士の考え方に注目が集まりつつあることが挙げられます。例えば、『論点・東洋史学　アジア・アフリカへの問い158』（ミネルヴァ書房、2022）のなかでは、中村博士の『釈尊の生涯』（平凡社ライブラリー、2003）が次のように紹介されています。「中村の意図としては、―仏教徒であるか否かを問わず、人類にとって共通の精神的遺産を求めようとするための作業とされているところが興味深い」（７頁）。中村博士の著作に親しまれている諸賢には旧聞に属することではありますが、ここで大事なのは没後20年を経てもなお中村博士のお仕事が色褪せず、分野を超えて参照され続けているということです。

また中村博士は、自ら語られているように「世界平和への道」として自らの思想研究を位置付けられました。2022年、ロシアがウクライナに侵攻し、今なお事態が進行中であることを考えれば、中村博士が目指された、学問（人文科学）による世界平和への道、そこに至る過程を理解する必要性は、より増しているように思われます。中村博士に関心のある方の受講をお待ちしております。

14　良寛『法華讃』について　【全４回】／開催方法：現地

竹村牧男（たけむらまきお）
東洋大学名誉教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月17日）

［日程・時間］【全４回】　10月23日（月）13：20〜14：50・15：00〜16：30
10月24日（火）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの

禅宗は、不立文字・教外別伝を標榜しています。しかし道元はこの立場を否定し、特に『法華経』を大変、尊重しました。良寛は、この立場を受ついだのでしょう、やはり『法華経』をとても重視しました。というのも、良寛には、『法華讃』という作品があるからです。それは、『法華経』二十八品すべてに対し、それぞれの内容を表す漢詩の讃を、全部で百首、収載しています。そこには、禅の悟りの観点からの、独自の『法華経』解釈が披瀝されています。

本講では、その讃のいくつかを紹介しつつ、良寛の禅思想を味わいたいと思います。四回のシリーズとし、第一回は、禅と『法華経』の関係、良寛の禅修行、道元と良寛などについて、お話します。第二回は、『法華経』の一乗思想や諸法実相の思想等に対する良寛の見方について、お話します。第三回は、『法華経』が説く、観音菩薩や常不軽菩薩についての良寛の思いについてお話します。なお第四回は、僭越ですが、私の『法華経』理解についてお話させていただきたいと思います。

この講座によって、禅と教（経典等）の関係、道元・良寛における『法華経』の位置、良寛の仏教学、良寛の禅思想などについて知識を広げ、『法華経』の思想の一面や禅仏教の独自性とその意義について理解を深めていただけましたら幸甚です。

【参考書】
『良寛「法華讃」』　著者：竹村牧男　出版社：春秋社　出版年：2019

15　仏教聖典へのいざない　【全４回】／開催方法：現地

釈（しゃく）　悟震（ごしん）
公益財団法人中村元
東方研究所業務執行理事
中村元記念館東洋思想
文化研究所副所長
文学博士
スリランカ国立ベーラ
デニヤ大学客員研究員
公益財団法人中村元
東方研究所副総括研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月24日）

［日程・時間］【全４回】　10月29日（日）13：20〜14：50・15：00〜16：30
10月30日（月）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの

［テキスト］**講義までにご購入ください。**
『仏教経典散策』　著者：中村元編著
出版社：東京書籍
角川文庫　出版年：2018
※中村元記念館ＳＨＯＰでお取り扱いしておりません。

膨大な仏教の経典を「八万大蔵経（はちまんだいぞうきょう）」とも表現しております。仏教はどうしてこれほど経典が多いのか。その理由や真の意味はどこにあるのか。またわたくしどもは、どれだけの経典の内容や意味を理解しているのであるだろうか、等々多くの疑念に対する紐を解くと同時に、われわれの日常生活文化になじんでいる仏教をより身近に感じさせ、摩訶不思議なる心の安らぎを覚えさせる講義であってほしいと願っております。

そこで本講義では、長い間もっとも難解で親しみやすくない仏教の聖典をわたくしどもが親しみやすくなるように、生涯をかけて心血を注いだ中村元博士の数多くの珠玉の教説から選定された釈尊在世時代の息を感じさせる根本仏典を始め、仏教が「世界宗教」として認められる根本仏典ともいうべき大乗仏教の聖典である『般若心経』を始め、中村元博士の門下生よりつづられた『華厳経』、『法華経』、『維摩経』、『勝鬘経』、『父母恩重経』、『観音経』、『金剛経』など今日なお、最初期の仏教聖典から大乗仏教密教の聖典中においても、いにしえから最も著名な仏教聖典を中心に、説話やエピソードを交えてつづられた『仏教経典散策』を主要テキストとして、より分かりやすく、なおかつ担当講師独自の目線において仏教聖典への思惟方法をふまえて、そのいざないを昨年度につづいて順次、講じてまいります。

【本講義進捗の件について】

膨大な仏教聖典のなかで、仏教伝来約二千有余年という長い歴史を有する日本仏教において親しまれつつ、地球上どこの民族も有し得ない日本人特有の文化ならびに人間形成をなしとげた本テキストに挙げられた仏教経典の数々。それらに関わる深層の真相を全地球的観点、とりわけ仏教発祥の地、インドおよび漢字文化圏である、中国、朝鮮半島、日本にいたるまでを概観するのも、本講義の特徴であります。本年度においても本テキストに挙げられている経典を順次かつ継続的に進捗されることを念頭において企画された講座であることを申し上げます。

仏教伝来約二千有余年につづき、日本の精神史ならびに文化史を築き上げられた数多くの大乗仏教の聖典より『父母恩重経』を始め、普段接することが稀である『大日経』などにより「如実に自らの心を知ることができる」ところから始め、本講義のテーマにより最終章の証学となれる、智恵を学ぶことになるだろうと思います。

16 「『歎異抄』を通して学ぶ浄土真宗入門」 【全２回】／開催方法：現地

田中（たなか）ケネス
武蔵野大学名誉教授

受講料	会員料金：￥5,000　早割価格：￥4,000（納入期限：11月７日）

［日程・時間］【全２回】 11月11日（土）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

『歎異抄』は、浄土真宗の宗門の壁を越え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる宗教書物です。海外でも日本仏教を代表する書物として数ヶ国語に訳され、英語だけでも10冊以上の訳が存在します。

このように、『歎異抄』は、大変有名で人気がある書物です。しかし、内容はかなり難解で、正しく理解するためには、親鸞の思想をより深く理解する必要があります。例えば、「善人なをもて往生をとぐ、いわんや悪人をや」（善人でさえなお往生をとげることができる。まして悪人はいうまでもないことだ。）という有名な文章ですが、「悪人」とはどういう意味なのでしょうか？「悪人」とは、犯罪者のことでしょうか？

答えは、親鸞の思想を入門レベルで全体的に把握することでより明らかになってくると思われます。これが、本講座の目的となります。講座では、図や譬え話を採用して、親鸞の主な教えを説明し、それをもって『歎異抄』の前半の内容の理解が深まることを目指します。それによって、親鸞が世界的宗教家であるという評価の理由もより明らかになることが期待されます。

【参考書】

①真宗入門　著者：ケネス・タナカ（著）、島津恵正（訳）　出版社：法蔵館　出版年：2003

②智慧の潮 ―親鸞の智慧・主体性・社会性　著者：ケネス・タナカ（編・著）　出版社：武蔵野大学出版会　出版年：2017

17　インドにおける瞑想と造形～密教的観想法（サーダナ）の世界～【全３回】／開催方法：

佐久間留理子（さくまるりこ）
大阪観光大学観光学部
教授
公益財団法人中村元東方
研究所理事

受講料	会員料金：￥7,000　早割価格：￥6,000（納入期限：2024年２月13日）

［日　程］【全３回】　３回／月　毎週日曜日
（2024/2/18、2/25、3/3）
［時　間］13：20～14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

第一回　密教的観想法の成立背景

密教的観想法の成立背景として、インドにおける世界観（宇宙観）、供養法（プージャー）、瞑想法、仏教パンテオン（仏教諸尊の組織体）について概説します。

第二回　般若波羅蜜（はんにゃはらみつ）などの女神の密教的観想法

インドにおいて12世紀頃までに個別に成立した密教的観想法の集成に、『サーダナ・マーラー』（成就法曼）があります。バッタチャリヤ校訂本によれば、この文献には、仏、菩薩、女神、忿怒尊などの312の密教的観想法が含まれています。その中、般若波羅蜜などの女神の密教的観想法を取り上げ、解説します。

第三回　観音などの菩薩の密教的観想法

『サーダナ・マーラー』（成就法曼）に収録された観音などの菩薩の密教的観想法を取り上げ、解説します。

なお、講義の進捗状況により、各回の授業内容は、上記とは若干異なる場合があります。

【参考文献】

佐久間留理子　『インド密教の観自在研究』　山喜房仏書林（2011）
佐久間留理子　『観音菩薩：変幻自在な姿をとる救済者』　春秋社（2015）
立川武蔵　『マンダラ観想と密教思想』　春秋社（2015）

中村元記念館文化講座 講義案内（年会費不要､受講料のみ必要）

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

18　伝統芸道香道とは ～聞香体験組香を通して～　【全７回】／開催方法：現地

大谷香代子（おおたにかよこ）
（公財）お香の会理事
出雲文化伝承館特別顧問
香道御家流和草会主宰

受講料	一般料金：￥12,200　早割価格：￥11,200（納入期限：４月６日）

［日　程］【全７回】　１回／月　第２木曜日
（4/13、5/11、6/8、7/13、10/12、11/9、12/14）
［時　間］10：30～12：00

■受講に必要なもの
材料代（香木炭団和紙など）1,000円（各回毎）

本年度は、昨年度に続き本講座において、香りを通して「源氏物語」を知っていきます。
「組香」という「香道」の楽しみ方を通して源氏物語の人間関係とあらすじを会得してまいります。
そしてまた、香木の種類である六国五味（りっこくごみ）の体得をして、日本の伝統芸道「香道」の良さに触れて頂きます。
さまざまな芸能に深い影響を及ぼし、日本人の美意識の源泉となった源氏物語を香道を通して学んで参りましょう。
「源氏物語」が途中参加となる方々にも十分ご理解いただける様に、補足説明しながら進めて参ります。

第１回　香の種類　聞き方作法
　　体験組香は源氏物語「澪標」「蓬生」
第２回　記録の書き方　重硯の使い方
　　体験組香は源氏物語「関屋」「絵合」
第３回　香道具の名称
　　組香は源氏物語「松風」「薄雲」
第４回　香道の歴史など
　　組香は源氏物語「朝顔」「乙女」
第５回　香道の様々
　　組香は源氏物語「玉鬘」「初音」
第６回　香席について
　　組香は源氏物語「胡蝶」「蛍」
第７回　香道と文学
　　組香は源氏物語「常夏」「篝火」

感染対策は、十分配慮徹底を致しております。
入室前のアルコール消毒。組香体験前の再度消毒。マスク着用。体調不良の参加不可。

19　初歩からはじめる仏像彫刻　【全８回】／開催方法：現地

石賀善章（いしがよしあき）
倉吉市文化財協会理事
鳥取県文化財保護指導員
日本木彫協会賛助会員

受講料	一般料金：￥13,800　早割価格：￥12,800（納入期限：4月11日）

［日　程］【全８回】　１回／月　第３火曜日
（4/18、5/16、6/20、7/18、10/17、11/21、12/19、2024/1/16）
［時　間］10：30～12：00

■受講に必要なもの
彫刻刀セット品など　材料代300～1,000円

日本における仏像彫刻技法は平安時代の仏師、定朝によって確立されました。
以来、その伝統は時々の時代に翻弄されつつも現在に受け継がれています。

当講座では仏像彫刻の魅力を紹介しながら実際に彫刻していただき、刀物の使い方の基礎である地紋彫りから、救世観音像及び聖観音像の造像まで学んで頂きます。

基本的にはご自宅での作業となりますが、各回それぞれ皆様の題材に合わせ直接アドバイス及び添削させて頂きます。
必要用具としては彫刻刀（セット品に買い足しても可）、筆記用具。用材の桧材は課題に合わせて販売いたします（檜材300円～1000円程度）。
またテキストは配布いたしますが、より深く仏像彫刻を学ばれる方は、下記の参考書をご用意されると良いでしょう。
その他、経験者の方には別途、課題の図面や用材を用意させて頂きます。

基礎から学び安全に、長い歴史と信仰に育まれた仏像彫刻の優美さを自ら体験しつつ、世界にニつとない御自身の祈りのかたちを具現化して頂ければ幸いです。

【参考書】
①『仏像彫刻のすすめ』　著者：松久朋琳　出版社：日貿出版社　出版年：2016
②『続仏像彫刻のすすめ』　著者：松久朋琳、松久宗琳　出版社：日貿出版社

20　観想行入門「心を知ろう」　【全７回】／開催方法：現地

清水谷善圭（しみずたにぜんけい）
清水寺長臈

受講料	一般料金：￥12,200　早割価格：￥11,200（納入期限：4月5日）

［日　程］【全７回】　１回／月　第３水曜日　※４月のみ第２水曜日
（4/12、5/17、6/21、7/19、10/18、11/15、12/20）
［時　間］10：30〜12：00

■その他
［テキスト］レジュメ配布
座禅をしますので動きやすい服装でお越しください。

私達凡夫が悩み、苦しみ、悲しむのは自分自身の心を知らず、心に従属させられているからです。喜びと平安を得て幸せを掴む為には心の主人（即ち自分自身の心を知り、心を制御・コントロールする力をつける）とならなければなりません。この講座は止観（坐禅）を通して、自分自身の心を観、心の動きを観察して心を制御する力を養います。一緒に心の主人となりましょう。

第１講座　この世が苦である原因
第２講座　心の無知・執着を知る
第３講座　止観とは
第４講座　心を観察する準備
１．環境を整える
２．呼吸を整える
３．姿勢を整える
第５講座　心を観察する
１．心の騒ぎを止める
２．騒ぐ心の源を観察する
第６講座　心の主人となろう
１．集中力・制御力をつける
２．智慧の完成まで
第７講座　まとめ

21　ナーダ・ブラフマー　宇宙の響き　【全６回】／開催方法：現地

瀬古康雄（せこやすお）
シタール奏者
しまねガムラン主宰

受講料	一般料金：￥10,600　早割価格：￥9,600（納入期限：５月９日）

［日　程］【全６回】　１回／月　第２土曜日　※最終日のみ第１土曜日
（5/13、6/10、7/8、9/9、10/14、11/4）
［時　間］13：20〜14：50

■受講に必要なもの
レジュメ配布

インドではヴェーダ神話の時代からブラフマー（宇宙の神、梵天）を讃える韻律があり、後には、サラスヴァティー（天界のせせらぎ、弁天）という配偶神も生まれて、梵天・弁天による「宇宙の響き」が神殿で唄われるようになった。神像や仏像が作られる時代になると、サラスヴァティーは孔雀を連れビーナと経典を携えた姿となり、日本へは琵琶を奏でる弁天様として伝来した。

聖徳太子の『法華義疏』には、「緊那羅（きんなら）は法楽をなし、乾闥婆（けんだっぱ）は俗楽をなす」とある。帝釈天の宮殿で、天女キンナラは聖句を歌い、天人ケンダッパは太鼓をたたいて宇宙の音色を響かせる。法華経に熱心だった宮沢賢治はこの記述を元に、キンナラとケンダッパをユリアとペンペルという名の「すあしのこどもら」とやさしく言い換え、いつも自分と一緒に歩いてくれる「遠いともだち」としている。法華経の時代には天人・天女はもはや神様ではなく、この世に堕ちた六道輪廻の身である。賢治は自分を修羅界に堕ちた者に喩えたが、キンナラとケンダッパは一番上層の天界（帝釈天インドラの宮殿）に住み、賢治の「インドラの網」に童話風に描かれているように、異次元ではあるがこの世の遥か上空を飛翔して宇宙の響きをわれわれ人間に届けてくれている。

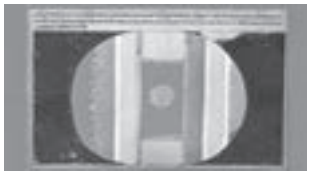
ところで、聖徳太子や宮沢賢治が耳にした宇宙の響きとは一体どのようなものだろうか。私のような者にも聞こえるのだろうか。ロジャー・パルバースは宮沢賢治の研究を40年以上も続け、「僕が作品を翻訳する際は、いつもトランス状態に入り込み、賢治に成り切って訳しています」とのこと。そういえば、ブラフマーもサラスヴァティーも出会うためにはトランス状態が不可欠だろう。無心になって、あるいは夢見心地で出会うしかないアナーハタナーダ（聴こえざる音）であろう。「インドラの網」では孔雀の鳴き声や天の太鼓は、確かに響いているものの、また少しも響いていないのですと、微妙な言い回しのつぶやきでアナーハタナーダの不思議が語られている。これを人の耳に聴こえるアーハタナーダ（聴こえる音）にするのが古典的な韻律や民族音楽の遡源に係る者の務めである。

あれこれ思うにつけ、ナーダ・ブラフマーの原点はどのようなものであろうか。ヒンドゥー教の寺院で古伝の韻律の奏上を代々の家業とするインド人の私の友人は、儀式の時の特別な頌（しょう、じゅ）は皆が知っている旧知の歌詞ではなく、その日その時に心に浮かぶ頌を即興で唱えなければならないので、インプロビゼーション（即興性）が不可欠であるという。ナーダ・ブラフマー、「宇宙の響き」は日々新しいということか。そういえば「インドラの網」は朝日を浴びて輝いている。明けない夜はない。宇宙の響きへの興味は尽きない。

本講座ではこれらのことを昔からの音源や映像で紹介し、できればインプロビゼーションを本領とするシタールでも試みに演奏してみたいと思います。

宇宙卵の誕生
（Kangra,18c,Varanasi）

ヒランニャガルバ（黄金の胎児）が、太初、暗黒の水波の中に自らを出生させた模様が描かれている。



ビンドゥ
（Rajasthan,18c.）

宇宙創造の核「ビンドゥ（点、しずく）」が成長しはじめる様子。

シタール　曲目

（1）ラーガ・バイラヴィー
ラサ（曲調・情趣）：
シャンティ
（平安、静寂、幸福）、
カルナー
（悲しみ、慈悲）

（2）ラーガ・グンカリ
ラサ（曲調・情趣）：
ガンビーラ
深さ、落ち着き、甚深微妙
「深」は「行深」の深

観自在菩薩行深般若波羅蜜多時
（般若心経）

参考書は特に定めませんが、参考文献を適宜提示するとともに、授業で使用したＣＤやＤＶＤを閲覧可能にします。

22　中国地方の神楽入門

【全２回】／開催方法：現地＋

中野秋鹿（なかのあいか）
中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	一般料金：￥4,200　早割価格：￥3,200（納入期限：８月22日）

［日程・時間］【全２回】　8月27日（日）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの

［テキスト］レジュメ配布

舞や奏楽を通じて、神々への祈りや感謝を表現する民俗芸能 ——神楽。

実は中国地方が、全国的にも類を見ない神楽の多様性を誇る地域だということをご存知でしょうか？

華麗な装束で舞い大蛇や鬼を退治するドラマチックな神楽から、弓の弦を打ちながら何時間も祭文を唱え続けるプリミティブな神楽まで、幅広く魅力的な神楽が、中国地方各地で今も伝承されています。

それらの神楽には、神道だけでなく仏教、陰陽道、修験道、その土地々々の民間信仰などの要素が、随所にちりばめられています。そして各地域の特色を育みながらも、伝承の過程で互いに影響を与え合い、つながり合ってきました。

本講座では、13年に１度の式年神楽などの貴重な映像をまじえて、中国地方の神楽の地域ごとの特徴と、地域を越えてなお共通するものを探っていきたいと思います。実際に神楽を観てみたいという方には、各種神楽情報もご提供します。

中国地方の人々が神楽に託してきた、多様な祈りのかたちを感じてください。

23　松江とジュネーブ ―景観賛美のルーツを探る―　【全３回】／開催方法：現地

岡﨑秀紀（おかざきひでき）

学芸員
島根大学教育学部嘱託講師
松江バルトン会幹事

受講料	一般料金：￥5,800　早割価格：￥4,800（納入期限：10月10日）

［日　程］【全３回】　１回／月　不定週　土曜日、日曜日
（10/15、11/12、12/9）※カレンダーでは「Ⓐ岡﨑」と表記
［時　間］13：20～14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

2022年度の講座「『華表美談　宍道湖嫁島』を読む」では、嫁ケ島・竹生島神社の華表（鳥居）献納の物語、宍道湖・嫁ケ島の文学、治水事業、環境保全、衛生思想の歴史などを学習しました。

文学作品の一つに、宍道湖の勝景がジュネーブに似ている、と激賞した末松謙澄（官僚・政治家・文学者、1855-1920）の漢詩がありました。

1918年、松江を訪問したJohn Eills（ハーン研究者、1868-？）も、宍道湖の風景について、「ハーンが最初の一年を教師として過ごした松江は、ジュネーブに似ていなくもない」（1927）と書き残しています。八雲自身は作品にジュネーブを扱ったこともありませんし、本人が訪ねたこともありませんでした。が、いつくかの文献では、「八雲が、松江はジュネーブに似ていると言った」と、書かれています。

本講座では、松江とジュネーブの類似性を表現、指摘した文献を調査しまとめたので、それらを紹介し、内容を検討します。そして、調査した文献を３つの時代区分に分けて、松江市民の八雲の受容と八雲会の活動の歴史の観点から、分析・考察を試みたいと思います。

第１回　松江とジュネーブのルーツ（明治時代）
　１）宍道湖（嫁島）の景観
　　菅茶山「碧雲湖吟」（1763頃）、永坂石埭「碧雲湖棹歌」（1914）
　２）漢詩人が発見した松江とジュネーブの景観
　　飯塚納（西湖）…『西湖四十字詩集』（1903）、『西湖四十字詩』（1930）
　　末松謙澄「松江城下作」（1891）
　　前田秀實「宍道湖の記」『地学雑誌』（1894）
　　「宍道湖の美人或は之を西湖に擬し或は東洋のゼネヴァと稱す…」

末松謙澄
「松江城下作」（1891）

第２回　松江とジュネーブ（大正時代）
　１）田山花袋編『日本一周』（1915）
　２）Eillsの松江訪問（1918）
　　「In Idzumo with Hearn」、『Safe Thoughts for Skittish Times』（1927）
　３）勝田商店の広告文（松江本町、1930）
　　広告に見るジュネーブのイメージとその拡散

第３回　松江とジュネーブ（昭和時代）
　１）戦前
　　田中阿歌麿『湖沼巡礼』（1927）
　　太田直行「宍道湖の新研究（2）」『山陰新聞』（1928）
　　松本博「宍道湖沿岸」『日本地理風俗体系Ｘ』（1930）
　　若槻有格「水郷松江とジュネーブ」『婦女界』（1930）
　２）戦後
　　『岩波写真文庫No.91松江』（1953）、
　　太田直行「ヘルンと松江」『島根タイムス』（1955）、
　　銭本健二『へるん今昔』（1993）

太田直行
「宍道湖の新研究(2)」
（1928）

まとめ（考察・感想）
　松江市民の八雲の受容と八雲会の歴史
　○　ハーンの時代の前より、ジュネーブとの類似性は漢詩人から指摘、表現されていました。
　◎　文献を整理して３つの時代区分に捉え、八雲の市民への受容と八雲会の活動の観点で、分析・考察を試みます。
　　Ⅰ．漢詩人の時代（1891～）、Ⅱ.国際連盟の発足（1920）、Ⅲ.国際文化観光都市・松江（1951）

　　参考）　第１次八雲会（1915～）、第２次八雲会（1965～）

【参考書】
『華表美談　宍道湖嫁島物語』　著者：岡﨑秀紀　出版年：2022．4．1

24　能海寛の外国語文献を読む　【全５回】／開催方法：現地

岡﨑秀紀（おかざきひでき）
能海寛研究会会長
学芸員

受講料	一般料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月31日）

［日　程］【全５回】　１回／月　不定週　土曜日、日曜日
（11/5、11/25、12/23、2024/1/27、2/24）
※カレンダーでは「Ⓑ岡﨑」と表記
［時　間］13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

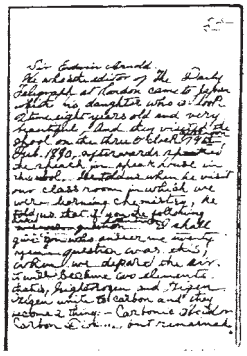
能海の英語学習歴は、1885年、広島進徳教校で受けた英語教育が初と思われます。1886年入学した京都普通教校は、普通学とともに英語を重視し、外国人教師を採用して、原書で講義を行っていました。能海は在学中、禁酒と進徳を掲げる反省会に結集し、英語の学習に力を注ぎます。英作文サークル “English Composition Society”（E.C.S.）をつくり、機関誌『NEW BUDDHIST』（週刊）を発行しています。1890年からは慶應義塾で学び、英語の発信を続けます。E.C.S. 機関誌は改題し、『Wisdom & Mercy』（智慧と慈悲）として、刊行を続けます。Editorial社説、Reading Articles 読み物、Newsニュースなどを手書きで記述して編集しました。こうして、英語力を高めていった能海は、仏典を英語に翻訳して世界に発信するという大きな目標を持ち、実践を重ねました。

本講座では、研究者らによる英語・中国語・仏語・独語の文献を提示して、概要を解説します。

第１回　能海寛の英文機関誌　『NEW BUDDHIST』（1889）、『Wisdom & Mercy（智慧と慈悲）』（1890）
能海は英語の必要性、主義主張を英語で述べることの重要性に触れ、その上で、仏教を世界に発信すること、日本仏教の国際化を考えていました。
１）Sir. Edwin Arnold（1832-1904）との交流
…アーノルド卿は、釈迦の生涯をうたった長編詩『アジアの光』（1879）で著名
２）能海の主張例
「We find that English is most common for all men on the world,」（W&M　No.1）
「If we not know of the English writing, we can not spread the Buddhism over the whole earth.」（M23.10）

第２回　能海寛の英語翻訳―仏典英訳―
１）翻訳成果
「大無量寿経」（1890）…アーノルド卿に添削指導を受ける
「二河白道」（1892）…浄土教典の英訳で最初期のもの
仏教＝E.Schragintweit『Buddhism in Tibet』（1863）、
S.Chandra Das「Life and Legend of Tsong Khapa」（1882）
２）英語文献の筆写
Mr.James「A Heap of Ashes A soliloquy on the frailty of human life」（1892）…蓮如上人の御文章「白骨の御文」

第３回　英語文献の紹介　　―能海の先進的なチベット研究を評価！―
１）Jonathan A.Silk　「Nomi Hiroshi」『THE HEAERT SUTRA IN TIBETAN』（1992）
…サンスクリット学への貢献を評価
２）Scott Berry著『Monks, Spies and a Soldier of Fortune ―The Japanese in Tibet―』（1995）
…能海、慧海の探検を比較する
３）Kaneko Tamio著「Early Japanese Travellers in Central Asia and Tibet」、『JAC』Vol.17（2006）
…金子民雄氏（能海研究会学術顧問、ヘディン研究）の解説



第４回　中国語文献の紹介
１）劉貫一編著『帝国主義侵略西藏簡史』（1951）…初めて能海の名が登場
２）王珏玉・王思玉「日本人入蔵行（一）（二）」『西蔵研究』3、4号（1990）…専門誌に初めて掲載
３）胡振華「一位鮮為人知的日本蔵学家　能海寛」『石峰』第2号（1996）…金城で感銘を受ける
４）姚詩「足偏八方的日本学僧能海寛」『日本学刊』第1期（1999）…能海を全中国に発信
５）何大勇「中国的能海寛研究綜述」（2020）…現代中国で能海研究の第一人者

第５回　フランス語・ドイツ語文献の紹介―能海の最期（屏風岩）―
１）Alfred Foucher著「CHRONIQUE JAPON」（1902）…フランスの情報収集力
２）Detjen Verlag編・中村保著『DIE ALPEN TIBET』（2008）…初のドイツ語文献
まとめ

2023年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座　年間スケジュール

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	土		1	月		1	木		1	土		1	火		1	金	
2	日		2	火		2	金	渡辺②③	2	日		2	水		2	土	
3	月	休館日	3	水		3	土	渡辺①②	3	月	休館日	3	木		3	日	
4	火		4	木		4	日		4	火		4	金		4	月	休館日
5	水		5	金		5	月	休館日	5	水		5	土	蓑輪②③	5	火	三友②③
6	木		6	土		6	火		6	木		6	日	蓑輪①②	6	水	三友②③
7	金		7	日		7	水		7	金	齊藤②	7	月	休館日	7	木	
8	土	吉田①②	8	月	休館日	8	木	大谷①	8	土	瀬古②	8	火		8	金	
9	日		9	火		9	金	的野①	9	日		9	水		9	土	瀬古②
10	月	休館日	10	水		10	土	瀬古②	10	月	休館日	10	木		10	日	
11	火		11	木	大谷①	11	日		11	火		11	金		11	月	休館日
12	水	清水谷①※1	12	金	的野①	12	月	下田①②	12	水		12	土		12	火	
13	木	大谷①	13	土	瀬古②	13	火	下田②③	13	木	大谷①	13	日	休館日	13	水	保坂②③
14	金		14	日		14	水		14	金	的野①	14	月	休館日	14	木	保坂①②
15	土	吉田②③	15	月	休館日	15	木		15	土		15	火	休館日	15	金	
16	日		16	火	石賀①	16	金	齊藤②	16	日		16	水		16	土	
17	月	休館日	17	水	清水谷①	17	土		17	月	休館日	17	木		17	日	山口②③
18	火	石賀①	18	木		18	日	山口②③	18	火	石賀①	18	金		18	月	休館日
19	水		19	金	齊藤②	19	月	休館日	19	水	清水谷①	19	土	加藤②③	19	火	
20	木		20	土		20	火	石賀①	20	木		20	日	加藤②③	20	水	
21	金	齊藤②	21	日	山口②③	21	水	清水谷①	21	金	齊藤②	21	月	休館日	21	木	
22	土		22	月	休館日	22	木		22	土		22	火		22	金	
23	日		23	火		23	金		23	日		23	水		23	土	
24	月	休館日	24	水		24	土		24	月	休館日	24	木		24	日	
25	火		25	木		25	日		25	火		25	金		25	月	休館日
26	水		26	金		26	月	休館日	26	水		26	土		26	火	
27	木		27	土		27	火		27	木		27	日	中野②③	27	水	
28	金		28	日		28	水		28	金		28	月	休館日	28	木	
29	土		29	月	休館日	29	木		29	土		29	火		29	金	
30	日		30	火		30	金	齊藤②	30	日		30	水		30	土	
			31	水					31	月	休館日	31	木				

※1 この月のみ
第2水曜日

講義時間：①10:30～12:00　②13:20～14:50　③15:00～16:30
※本年度より講義時間に変更があります。

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	日		1	水		1	金	齊藤②	1	月	年末年始休館	1	木		1	金	
2	月	休館日	2	木		2	土		2	火	年末年始休館	2	金		2	土	
3	火		3	金	齊藤②	3	日		3	水	年末年始休館	3	土		3	日	佐久間②
4	水		4	土	瀬古②※3	4	月	休館日	4	木	年末年始休館	4	日		4	月	休館日
5	木		5	日	Ⓑ岡﨑②	5	火		5	金		5	月	休館日	5	火	
6	金	齊藤②	6	月	休館日	6	水		6	土		6	火	出口①	6	水	
7	土		7	火		7	木		7	日		7	水		7	木	
8	日	山口②③※2	8	水		8	金	的野①	8	月	休館日	8	木		8	金	
9	月	休館日	9	木	大谷①	9	土	Ⓐ岡﨑②	9	火		9	金		9	土	
10	火	笠原②	10	金	的野①	10	日		10	水		10	土		10	日	
11	水		11	土	田中①②	11	月	休館日	11	木		11	日		11	月	休館日
12	木	大谷①	12	日	Ⓐ岡﨑②	12	火		12	金		12	月	休館日	12	火	
13	金	的野①	13	月	休館日	13	水		13	土		13	火	出口①	13	水	
14	土	瀬古②	14	火		14	木	大谷①	14	日		14	水		14	木	
15	日	Ⓐ岡﨑②	15	水	清水谷①	15	金	齊藤②	15	月	休館日	15	木		15	金	
16	月	休館日	16	木		16	土	岡①	16	火	石賀①	16	金		16	土	
17	火	石賀①	17	金	齊藤②	17	日		17	水		17	土	岡①	17	日	
18	水	清水谷①	18	土	岡①	18	月	休館日	18	木		18	日	佐久間②	18	月	休館日
19	木		19	日		19	火	石賀①	19	金		19	月	休館日	19	火	
20	金	齊藤②	20	月	休館日	20	水	清水谷①	20	土	岡①	20	火	出口①	20	水	
21	土	岡①	21	火	石賀①	21	木		21	日		21	水		21	木	
22	日		22	水		22	金		22	月	休館日	22	木		22	金	
23	月	竹村②③	23	木		23	土	Ⓑ岡﨑②	23	火		23	金		23	土	
24	火	竹村①②	24	金		24	日		24	水		24	土	Ⓑ岡﨑②	24	日	
25	水		25	土	Ⓑ岡﨑②	25	月	休館日	25	木		25	日	佐久間②	25	月	休館日
26	木		26	日		26	火		26	金		26	月	休館日	26	火	
27	金		27	月	休館日	27	水		27	土	Ⓑ岡﨑②	27	火	出口①	27	水	
28	土	第８回中村元東洋思想文化賞授賞式	28	火		28	木	年末年始休館	28	日		28	水		28	木	
29	日	釈②③	29	水		29	金	年末年始休館	29	月	休館日	29	木		29	金	
30	月	釈①②	30	木		30	土	年末年始休館	30	火					30	土	
31	火					31	日	年末年始休館	31	水					31	日	

※2 この月のみ
第2日曜日

※3 この月のみ
第1土曜日

Ⓐ岡﨑：23　松江とジュネーブ ―景観賛美のルーツを探る―
Ⓑ岡﨑：24　能海寛の外国語文献を読む

各講座へのお申込みのご案内

●受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください（お電話・FAXでの申し込みはできません）。
お申し込みは入金が確認できた時点で完了いたします。

１．窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（37ページ）にご記入の上、年会費（文化講座のみ受講の方は不要）、受講料と一緒に提出してください。

２．振込でのお申込み・お支払い

(1) 年会費、受講料を、下記の口座にお振込みください。
注１．振込手数料はご負担ください
注２．振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。
注３．振込の場合、領収書の発行は致しません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。

(2) 受講申込書（37ページ）にご記入の上、(1) の振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。
〈郵送先〉〒690-1404　松江市八束町波入2060番地　中村元記念館宛

【振込先】
■ゆうちょ銀行　（この冊子に添付の払込票をご利用ください）
口座番号　01370-8-91228　　加入者名　中村元記念館
■山陰合同銀行　松江駅前支店（店番号004）
口座番号　普通3692971
口座名義　中村元記念館

●受講にあたっての留意事項

①講座によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講座がございます。
各講座案内のページをご確認ください。
②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。
⑤講座時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
⑥布教活動・政治活動・物品販売など講座に関係のない行為はお控えください。

●体験受講制度について

東方学院松江校講座、文化講座の一部については、原則第１回目の講座に限り体験受講ができます。体験受講を希望される方は、事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。
体験受講料：￥2,000―
（体験後、正式に申し込みをされる場合、受講料金は体験受講料を差し引いた金額となります。）

●その他

・頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
・各講座の開講の有無、回数は予定です。やむを得ない事情により変更・中止となる場合があります。

●新型コロナウイルス感染症拡大防止に対するご案内

・万が一、感染者の発生が疑われた場合などに要請を受け必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合がございますので予めご了承ください。
・発熱、咳などの症状、その他体調不良の症状のある方、過去２週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご来館をお控えください。
・マスクの着用、手洗い、手指の消毒などの感染症対策にご協力ください。
・37.5℃以上の発熱がある方はご入館をご遠慮いただきます。

2023年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

		申込日　　年　　月　　日
ふりがな		生年月日
氏　　名		年　　月　　日
住　　所	〒　　ー	
電話番号	（緊急の際に連絡がつく番号をお書きください）	
E-mail		

◆ NO.1～17を受講される場合は、各受講料の他に3,000円の年会費が必要となります。
（NO.18～24のみを受講される場合は、必要ありません。）

◆ 受講を希望する講座Noと受講料（早割適用の場合は早割の受講料）に○をつけてください。

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料（早割）	早割締切日	事務局記入欄 受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	『観無量寿経』を読む	齊藤　舜健	¥20,200	¥19,200	4月14日			
	2	松江の仏像　その時代とかたち	的野　克之	¥10,600	¥9,600	5月9日			
	3	スピリチュアルとは？	岡　　宏	¥9,000	¥8,000	10月17日			
	4	日本神話と世界の神話 ―構造分析による比較	出口　　顕	¥7,400	¥6,400	2024年1月30日			
	5	空海と覚鑁	吉田　宏哲	¥9,000	¥8,000	4月4日			
	6	仏教漢文講読：『維摩経』をよむ	山口　弘江	¥17,000	¥16,000	5月16日			
	7	大乗仏教とは何か ―その成立と展開―	渡辺　章悟	¥9,000	¥8,000	5月26日			
	8	仏教思想概論 ―インド仏教思想の展開―	下田　正弘	¥9,000	¥8,000	6月6日			
	9	日本の院政期における仏教修行	蓑輪　顕量	¥9,000	¥8,000	8月1日			
	10	天神信仰と神仏習合	加藤みち子	¥9,000	¥8,000	8月16日			
	11	『彰所知論』を読む	三友　健容	¥9,000	¥8,000	8月29日			
	12	中村元博士の思想研究の継承への試み（中村思想と比較文明学）	保坂　俊司	¥9,000	¥8,000	9月6日			
	13	中村元博士の思惟方法	笠原　愛古	¥3,000	¥2,000	10月3日			
	14	良寛『法華讃』について	竹村　牧男	¥9,000	¥8,000	10月17日			
	15	仏教聖典へのいざない	釈　　悟震	¥9,000	¥8,000	10月24日			
	16	「『歎異抄』を通して学ぶ浄土真宗入門」	田中ケネス	¥5,000	¥4,000	11月7日			
	17	インドにおける瞑想と造形～密教的観想法（サーダナ）の世界～	佐久間留理子	¥7,000	¥6,000	2024年2月13日			
		受講料合計（ア）		円					
		年会費（イ）		¥3,000					
		東方学院松江校　お支払い合計（ア）＋（イ）		円			―Ⓐ		

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料（早割）	早割締切日	事務局記入欄 受領日	担当	データ
文化講座	18	伝統芸道香道とは～聞香体験組香を通して～	大谷香代子	¥12,200	¥11,200	4月6日			
	19	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀　善章	¥13,800	¥12,800	4月11日			
	20	観想行入門「心を知ろう」	清水谷善圭	¥12,200	¥11,200	4月5日			
	21	ナーダ・ブラフマー　宇宙の響き	瀬古　康雄	¥10,600	¥9,600	5月9日			
	22	中国地方の神楽入門	中野　秋鹿	¥4,200	¥3,200	8月22日			
	23	松江とジュネーブ ―景観美のルーツを探る―	岡﨑　秀紀	¥5,800	¥4,800	10月10日			
	24	能海寛の外国語文献を読む	岡﨑　秀紀	¥9,000	¥8,000	10月31日			
		中村元記念館文化講座　受講料合計		円			―Ⓑ		

お支払い合計（Ⓐ＋Ⓑ）	円		

受　付	データ	備　考

《送付先》

〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060　中村元記念館

※窓口に提出するか、振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に郵送してください。

キリトリ線

●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

〈活動内容〉
- 隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- 可能であれば、関連する学会で発表をする。
- 人文科学分野の研究を振興する。

〈応募資格〉
- 人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- 中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。
- 履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- 研究課題書
- 推薦書

〈応募締切〉

毎年度　２月末日

〈待遇〉
- 当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- 研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- 研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

所　　長	藤　井　教　公
副 所 長	釈　　悟　震
主任研究員	岡　田　真　水
主　　事	清水谷　善　暁

●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。
ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。
詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

〈活動内容の例〉
- 蔵書整理
- イベント運営
- 付属研修施設の環境整備
- チラシ等発送業務
- 語学（翻訳/通訳）

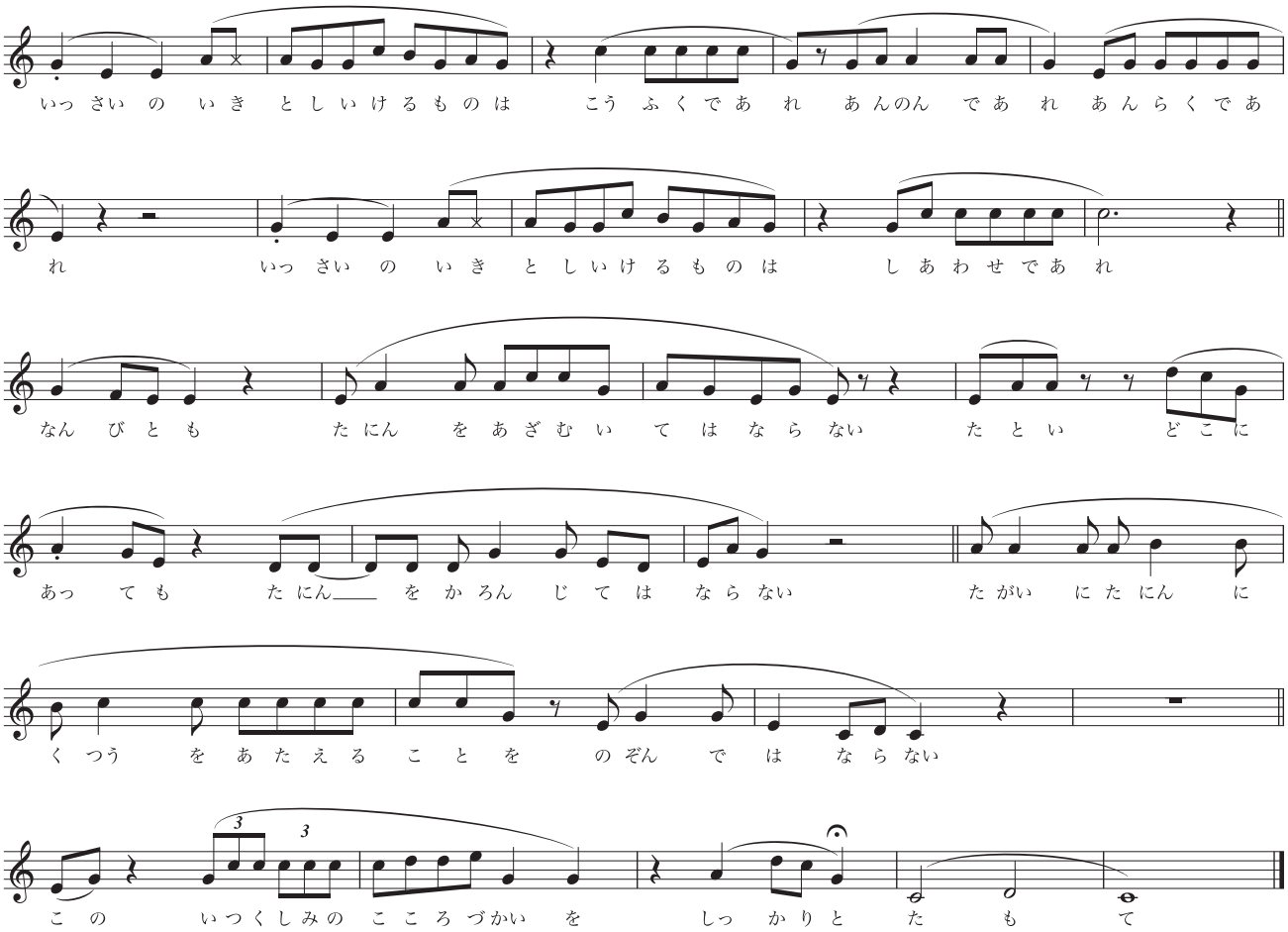
慈しみ

東方学院歌

詞　中村　元
作曲　中村匡宏

慈しみ

一切の生きとし生けるものは、
　幸福であれ、安穏であれ、安楽であれ。
一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。
何びとも他人を欺いてはならない。
たといどこにあっても
　他人を軽んじてはならない。
互いに他人に苦痛を与える
　ことを望んではならない。
この慈しみの心づかいを
　しっかりとたもて。



© 2013 Kunihiro NAKAMURA.

アクセス

飛行機でお越しの方

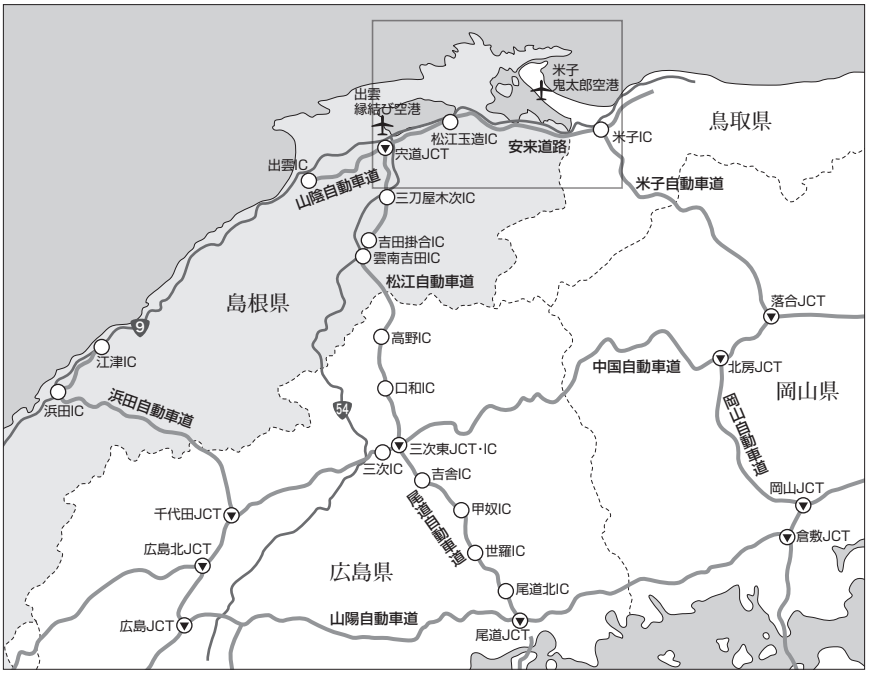
【米子空港から】車で約15分
【出雲空港から】車で約50分

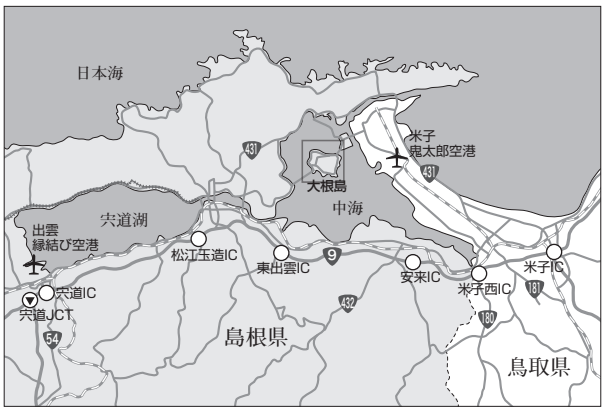
車でお越しの方

【広 島 か ら】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）
【岡 山 か ら】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）
【松江駅から】車で約25分
【境港駅から】車で約10分
【米子駅から】車で約35分

バスでお越しの方

【松江駅から】
・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車
【境港駅から】
・八束コミュニティバス約30分「八束支所前」下車





Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

2023年３月　発行

発行所　特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060番地　松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
https://www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

￥300（税込）